

令和2年度やさしおベジ増しプロジェクト推進事業

～県民への周知拡大と強化をめざす～

開始年度の
課題

1	参加協力店が増えない
2	お弁当の売上げが伸びない
3	県民の認知が少ない

新型コロナウイルス感染症の流行下、「新しい生活様式」の実践により家庭で食事をする機会が増えていることから、食生活に関する啓発の好機と考えられる。

そこで、「やさしおベジ増し」を健康的な食生活の代名詞として啓発し、併せて、「やさしおベジ増しプロジェクト」の認知、浸透を図ることにより、県民の減塩、野菜摂取の増量等、健康的な食生活を推進する。

奈良県が勧める「健康的な食生活の実践」の代名詞として設定

奈良県食育推進会議からの提案

県民にわかりやすいメッセージを発信し、家庭での取り組みにつなげる必要がある。

やさしおベジ増し宣言

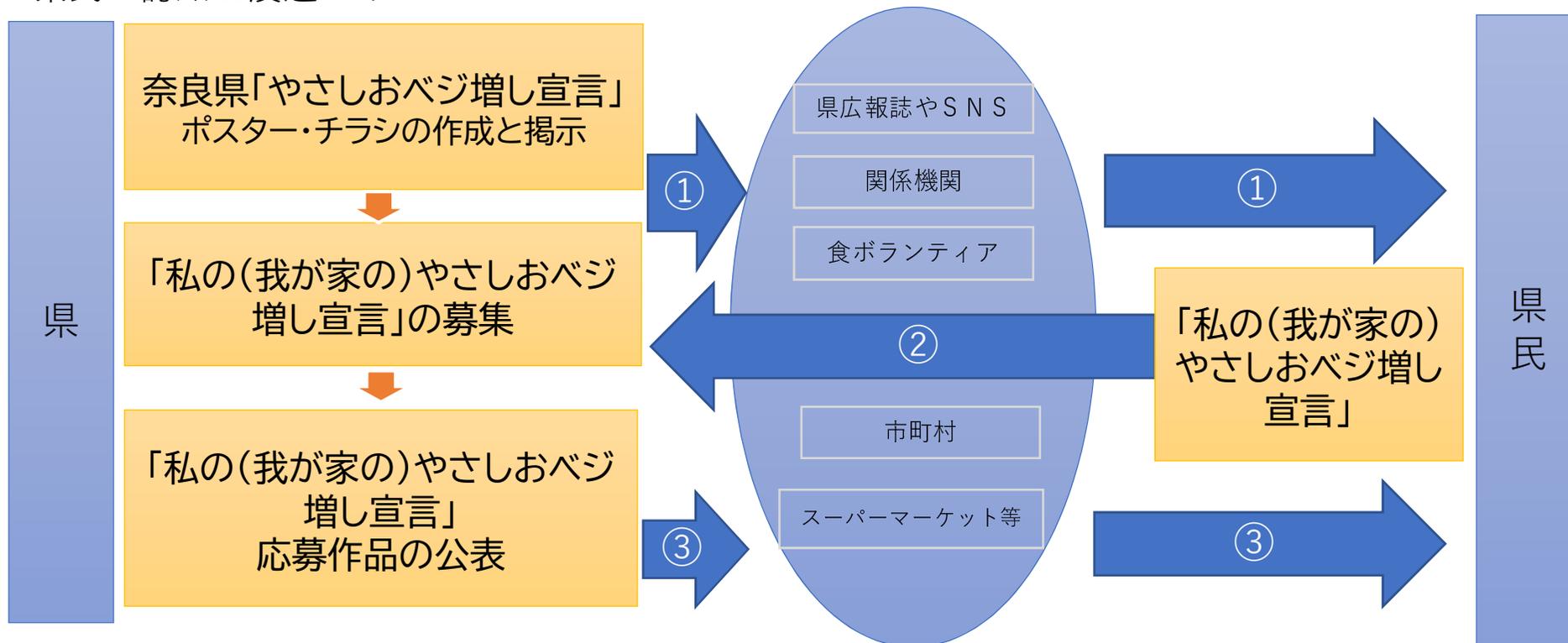
資料5

やさしおベジ増し宣言

身体にやさしい塩(しお)加減で野菜(ベジタブル)を増した食事をとること
＜健康的な食生活の実践＞

県民一人一人が実践する

＜県民の認知と浸透のイメージ＞



一方的な啓発でなく、双方向になるよう県民から「やさしおベジ増し宣言」を募集する。